

## 巻末参考資料－２：祇園祭りのあらまし

祇園祭りは広嶺神社の祭礼で、戦国時代以前から続けられている歴史のある祭りです。江戸時代に入り、酒井忠勝公が藩主になるとその庇護を受け、氏子だけでなく、足軽侍、旧小浜町民などが大勢参加して華やかな練物行列をともなう盛大なものとなり、若狭地方随一といわれる盛大な祭りとなっていきました。この様子は「小浜祇園祭絵巻」等の諸資料でもうかがい知ることができます。

最も華やかだったころの祭礼は次のようなものでした。

① 旧暦6月7日、下竹原より3艘の船が出、船太鼓を叩きながら競争し南川へ入る。



② 神社から出てきた神輿を船に乗せて、当時の南川（船だまり→病院付近→市営グラウンド付近）を、綱を引いてさかのぼる。

③ 府中で陸揚げし、府中から上竹原を経て陸路旧小浜の八幡神社へ至る。このとき足軽が棒振り大太鼓・王の舞あるいは神楽・獅子舞を演じる。また、やせ、ひょっとこ、おかめ、傘鉾が先導する。



④ 八幡神社で7日間逗留し、その間いろいろな催しがある。

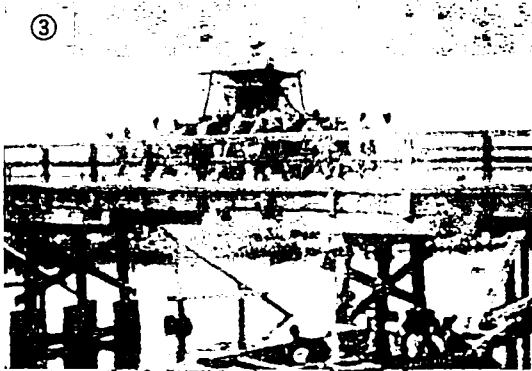
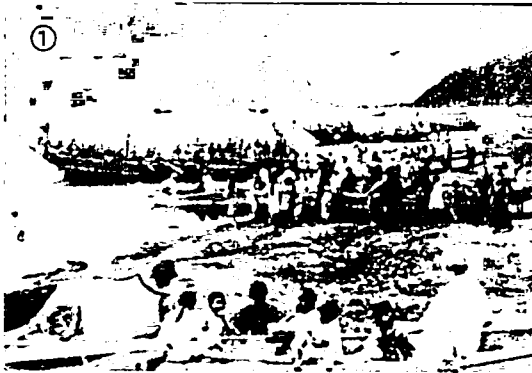
⑤ 旧暦6月14日に帰還する。このとき旧小浜町民が太鼓・神楽・獅子舞のほか、山車、仮装など様々な出し物で行列をつくる。



⑥ 最後に広嶺神社で「鎌取神事」が行われる。

このような形で城下町、港町として繁栄した小浜の町人たちの経済力を背景として大変華やかなものであった祇園祭ですが、明治時代となると、廃藩置県・氏子制度により足軽たちの出し物は小浜神社の創設を機にお城祭りに、旧小浜町人の出し物は八幡神社の県社昇格を機に放生祭へと出るようになり、上竹原・下竹原を中心とした氏子衆だけで祭りを行うようになりました。

それでも「どんでん船」や武者行列を中心に華やかな祭りが続けられていましたが、氏子減少などにより徐々に維持がむずかしくなり、神輿もリヤカーや耕運機に乗せて運ぶようになってきました。



明治・大正期の祇園祭

- ① 下竹原より船が3艘出る。
- ② 南川を競争しながらさかのぼる。
- ③ 神輿を船に乗せる。
- ④ 府中で陸揚げ。
- ⑤ 陸路八幡神社へ。
- ⑥ 八幡神社からの帰還。武者行列が出る。
- ⑦ 広嶺神社での鎌取神事。

### 巻末参考資料－3：お城祭りのあらし

お城祭りは、若狭国藩主であった酒井忠勝公を祀る小浜神社のお祭りで、毎年5月2日と3日に出し物が出てにぎやかに行われます。

この出し物は、江戸時代に若狭地方で最も賑やかであった祇園祭に出自があります。このお祭りは、広嶺神社の神輿が小浜八幡神社を御旅所として渡御したのですが、この渡御の時に足軽が中心となって棒振り大太鼓、神楽・王の舞い、獅子舞を演じておりました。なお、絵巻などで有名な出し物行列は、小浜八幡神社からの還幸の時に小浜町人が演じていたものです。



明治維新の際に廃藩置県・氏子制度により足軽身分の士族が祇園祭りに参加出来なくなったため、祇園祭で足軽が演じていたこれらの演技は一時途絶えることとなりましたが、明治8年に小浜神社が創建されたのを機に、酒井氏を懐かしむ有志により棒振り大太鼓と獅子舞が復活し演技されたのが、お城祭りの出し物の始まりです。

棒振り大太鼓は、江戸時代初期に西津・小松原松福寺住職が創作したと伝えられる若狭地方独自の芸能で、今では若狭地区一円に広がっています。直径2尺5寸前後の大太鼓を台車に乗せて練り歩き、僧兵の棒術をアレンジしたといわれる棒振り演技で家々の邪悪を払うとされています。

また獅子舞は酒井忠勝公が武蔵川越から小浜に国替えになった際、演者を伴って伝えたものです。演者たちは「関東組」と称され準士族の身分を与えられ、主に城中での祝事のみ演技が許されていたとされています。この舞は一頭の雌獅子をめぐる二頭の雄獅子が繰り広げる恋の争いを笛の音と勇ましい舞によって描いたもので、昭和32年に福井県無形民族文化財の指定を受けています。



## 巻末参考資料－４：郷土の偉人たち

江戸時代、若狭国を拝領した京極高次は雲浜の浜に城を築き領国支配の拠点とし、城の南に竹原武家屋敷（現在の一番町・千種・四谷・大手町）、北に西津武家屋敷（現在の雲浜・山手）を配しました。そして寛永 11（1634）年、京極氏は出雲へ国替えとなり、後に酒井忠勝が入城して明治維新に至りました。当雲浜地区は、かつて酒井氏の城が在り、酒井氏の家臣が住んだ地域でもあります。

その風土に育まれた優秀な人材は数多く、ふるさと小浜（雲浜）の発展に尽くしたばかりでなく、わが国のリーダーとして活躍した人が多くいます。

以下、生年順に紹介しましょう。

### ■ 酒井忠勝（1587～1662） <小浜のまちづくりの基礎を築いた>

三河国西尾（愛知県西尾市）で生まれた。

1634 年に武蔵国川越より初代酒井小浜藩主として小浜に入り、小浜城を完成させ、小浜のまちづくりの基礎を築いた。

1637 年には幕府大老に就任し、4 代徳川家綱を補佐する幕府の重鎮として活躍した。墓は空印寺（小浜市男山）にある。



### ■ 杉田玄白（1773～1817） <解体新書を著す>

江戸の小浜藩下屋敷で生れる。江戸詰め 250 石取りの小浜藩医であった父が国元・小浜詰を命じられた 8 才から 15 才までの 7 年間、玄白は小浜で過ごした。生来虚弱であったが、西津武家屋敷に住んだとされる 7 年の長い間、雲浜の自然に育まれて頑健な少年となった。江戸へ帰った玄白は医者道を志した。

明和 8 年 3 月、千住小塚原刑場で婦人死刑囚の腑分けを見る機会に恵まれ、人体各部をオランダの原典「ターヘル・アナトミア」の図譜と見比べ、その解剖図の正確さに驚き翻訳を決意。3 年の歳月を経た安永 3（1744）年、「解体新書」を遂に完成した。「解体新書」初版本は小浜市立図書館・酒井文庫に蔵す。小浜市では杉田玄白が小浜藩医であったことを記念して「食と医療または健康増進」の研究者を全国から公募し、小浜市杉田玄白賞として表彰している。



■ 伴 信友 (1773~1846) <「天保国学の四大家」の一人>

竹原的場前(現若狭高校構内)に生まれた。

国学者として名声を得、平田篤胤・橘守部・香川景樹と並び、「天保国学四大家」と呼ばれるとともに、また、小浜藩国学の基礎を築き、郷土誌編纂など、若狭の歴史文化の発展に貢献した。

墓は発心寺(小浜市伏原)に、顕彰碑は別所谷(小浜市伏原)にある。



■ 武久権十郎 (1806~1875) <小浜の町を大火から救った町奉行>

小浜市竹原に藩士の子として生まれた。

度重なる火災から小浜町民を守るため、財政支出を渋る小浜藩を尻目に、寄付により、さらには私財をなげうって町の中央に「堀川」を開き南川の水を導いて防火地帯を作った。堀川完成後、以前のような大火に見舞われることはなく、町の人々は安心して生活できるようになった。

日吉海岸に建つ堀川改修記念碑に、権十郎の事績を書き記し遺徳を顕彰している。



■ 梅田雲浜 (1815~1859) <明治維新への道筋をつけた幕末の志士>

小浜町竹原3番町(現小浜市千種二丁目)に生れる。幼名は義質(よしただ)のち定明、通称源次郎、雲浜と号す。のち祖父の実家の梅田姓を名乗る。

幕末の尊皇攘夷派(天皇の権威を唱える封建的排外思想の倒幕派)の志士。

安政大獄で捕えられ、1859年獄死。

墓は小浜市北塩屋町松源寺に、銅像は中央公園にあり、顕彰碑が小浜公園に建っている。千種二丁目には生誕地跡が保存されている。



■ 大谷喜久蔵 (1855~1923) <福井県最初の陸軍大将>

陸軍大将。小浜市雲浜に生れる。

藩校順造館に学び、陸軍士官学校卒業。1916年に本県最初の陸軍大将に昇進した。

1918年のシベリア出兵では連合軍総司令官。この功労で男爵となった。1920年シベリアから帰国し教育総監となった。



■ 和田維四郎 (1856~1920) <42才の八幡製鉄所長官>

地質学者。小浜市雲浜に生れる。

大学南校(東京大学の前身)で鉱物学を学び、ドイツ留学後、東大教授として鉱物・地質学の講義を担当。1897年、弱冠42才で官営八幡製鉄所長官に就任。小浜鉄道(小浜~今津~大津~京都)敷設計画委員長として実現に奔走した。



■ 山口嘉七 (1857~1932) <川の流れを変えた男>

衆議院・議員、実業家。小浜藩士山口甚太夫の3男として、上竹原で生まれた。苦学して法律学を修め京都・大津にて弁護士を開業後、郷里に帰り政治家をめざした。

1897年県会議員初当選。教育施設の拡充に尽力した。1915年衆議院選挙に当選。敦鶴鉄道促成建議案を提出し、1921年に小浜線の全線開通を実現させた。

1926年年に北川・南川の改修工事に着手、1941年、16年の歳月をかけてこれを完成し、毎年のように起きた洪水の被害から小浜の人々を救った。



■ 名和又八郎 (1863~1928) <福井県で最初の海軍大将>

海軍大将。遠敷郡雲浜村(現小浜市)に生れる。

1883年海軍兵学校を卒業。日清日露戦争に参戦、第1次世界大戦には第二艦隊司令長官として参加、1918年福井県出身者として初の海軍大将となった。



■ 添田敬一郎 (1871~1953) <わが国の社会福祉制度確立に尽す>

衆議院議員。遠敷郡雲浜村(現小浜市)に生れる。

東大卒業後内務省入りし、埼玉、山梨、山形の各県知事を歴任。1923年、山形県衆院補欠選挙に当選、1928年以降福井県選出の衆議院議員を6期務めた。国民健康保険法、医療保護法、労組法の成立に各委員長として政界をリードし、わが国の社会福祉制度確立に尽した。



■ 山川登美子 (1879~1909) <「明星」の歌人>

歌人。遠敷郡竹原村（現小浜市千種一丁目）に生れる。

1897年大坂の梅花女学校を卒業、雑誌「新声」「文庫」の投書家として活躍。1900年東京新詩社に加入、与謝野晶子と並び「明星」初期の女流歌人として浪漫主義短歌の進展に大きく貢献した。

その師与謝野鉄幹に対する至純の恋を友の晶子に譲り、親の決めた夫のもとに嫁いだ。夫と死別後、1904年日本女子大学に入学、

再び「明星」の世界に返り咲いた。晶子・津田雅子との合著歌集「恋衣」を刊行、盛名をうたわれたものの、胸を病んで不治の病気に悩み、郷里で悲恋薄命の生涯を終えた。



■ 梅澤濱夫 (1914~1986) <抗生物質で文化勲章>

医学者。小浜病院長の二男として遠敷郡雲浜村竹原（現小浜市）に生まれ、6才まで小浜で過ごした。

東大医学部を卒業、東京大学教授、微生物化学研究所長を歴任した。

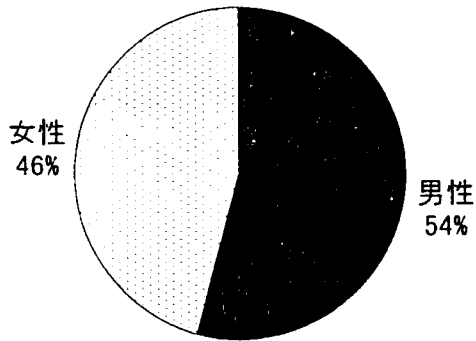
1944年、日本で初めてペニシリンの分離に成功、日本の抗生物質研究を世界的水準にまで引き上げた。1962年には日本学士院賞と文化勲章を受章した。



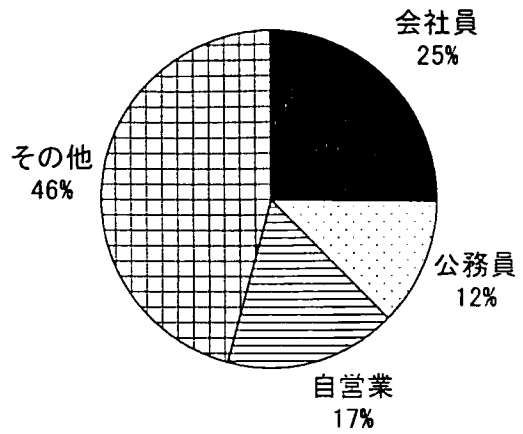
# 巻末参考資料-5: アンケート結果

## アンケート回答者の状況

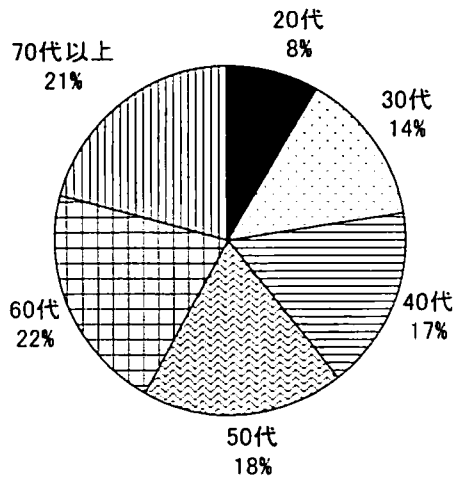
### 性別



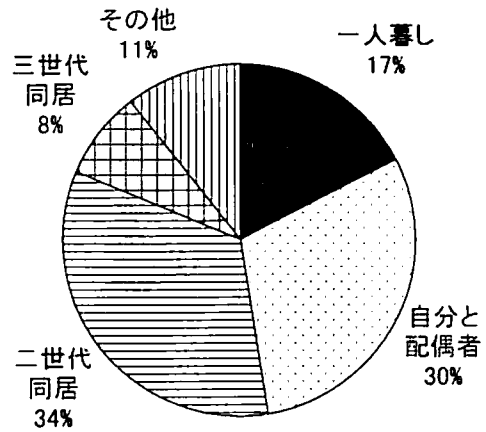
### 職業



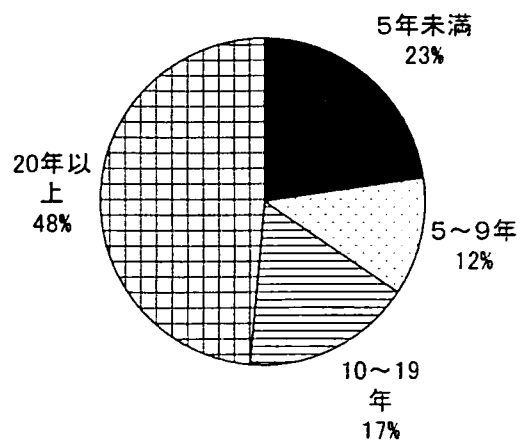
### 年齢



### 家族構成



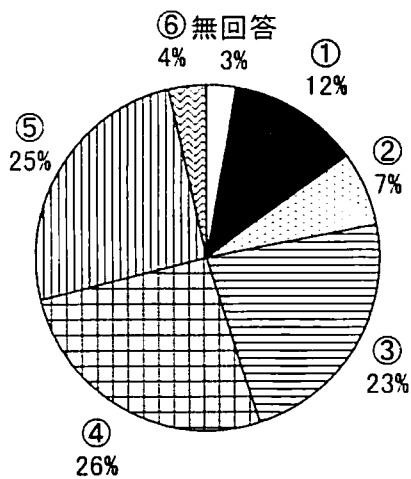
### 居住年数





## アンケート結果概要(歴史的環境) その1

### 問1:小浜城再建について

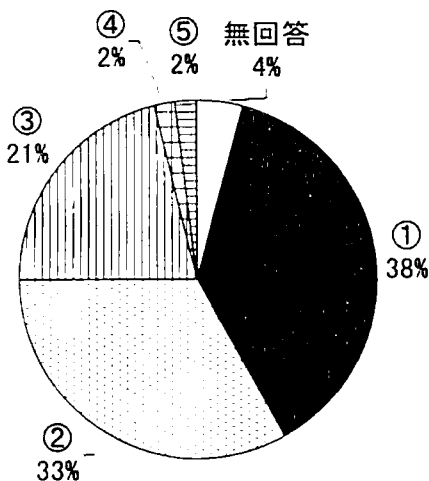


- ①周辺整備なども含め本丸全体の再建
- ②現在の石垣に天守閣のみ再建
- ③市民に建設費負担をかけず天守閣のみ再建
- ④城にこだわらず、資料館、歴史紹介施設などの建築
- ⑤お金をかけて建てる必要はない
- ⑥その他

#### 【意見】

- ・駐車場、案内板、河川整備、公園など周辺整備も含め夢のある計画を。
- ・小浜のシンボルとして観光に、市民の集まる場所として活用を。
- ・この不況にハコモノ行政は反対。お金の無駄遣い。
- ・現実に再建可能か？目的は？活用など将来展望は？もっと具体的に説明を。
- ・すでに民家が密集している。周辺との整合性は？
- ・歴史資料館にする。あるいは城の形をした歴史資料館を。祭り展示館を。

### 問2:小浜城・小浜神社内史跡等について



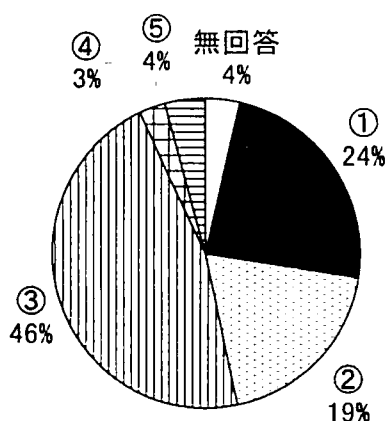
- ①地区民も史跡を勉強して、地区民みんなで整備保存していくべき
- ②行政にまかせて整備保存していくべき
- ③現状のままでよい
- ④多少風化損傷が進んでも整備保存には力を注がなくてもよい
- ⑤その他

#### 【意見】

- ・観光資源として積極的に整備を。
- ・地区民の協力は無論、行政による整備保存が必要。
- ・小浜駅から散歩道をいくつも作り、その中に含めては。
- ・運営は民間が参入していくべき。ボランティア・シルバー連携など。
- ・鎮守の森を大切に。

## アンケート結果概要(歴史的環境) その2

### 問3:お城祭りについて

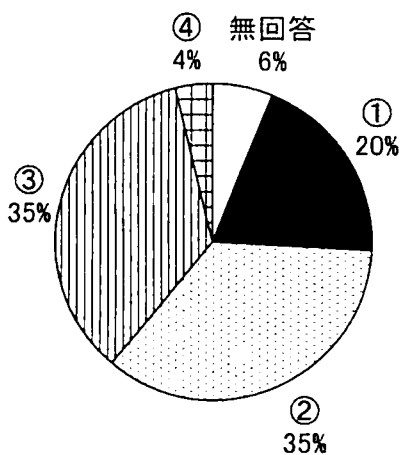


- ① 出し物を増やしてどんどん盛り上げていくべき
- ② 今参加している地区で盛り上げていくべき
- ③ 現状のままでよい
- ④ 縮小していくべき
- ⑤ その他

#### 【意見】

- ・雲浜地区全体の祭りとして地区民全員で盛り上げていくべき。みんなが参加できるように。
- ・参加したい子供は他区からでも参加できるようにしてほしい。
- ・もっとPRが必要。年中行事としてマンネリ気味。もっと工夫を。出し物も増やしては。
- ・放生祭などと一体化すればよい。宗教色を薄めてもっと盛大に。
- ・2年に一度でもいいのではないか。
- ・少子化の中、協力しあって伝統を大切に。あまりイベント化しないように。

### 問4:広峰神社の祇園祭について



- ① 氏子の意見も聞き可能であればもっと祭礼規模を大きく盛り上げていくべき
- ② 人的支援などの形で祭礼維持に協力すべき
- ③ 無理をせず多少の縮小も検討すべき
- ④ その他

#### 【意見】

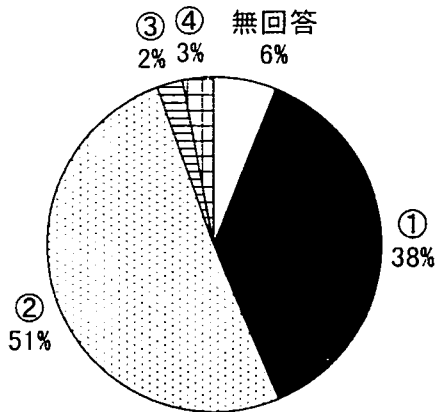
- ・本来の祭りを大切に。観光目的に使うな。
- ・お城祭りと合同で行ってはどうか。
- ・お城祭や放生祭を合体させて昔の盛大な祭りを復活させる。どんどん船も復活。
- ・氏子の意見を尊重する。あまり口出ししないほうがよい。
- ・人集めが大変。現状のままでよい。負担を大きくすると続かなくなる。

### 問5:祭礼や地蔵盆なども含めた伝統行事について、今後のあり方などに関するご意見・アイデア

- ・地蔵盆が子供の金集め目的になっている。商店の入り口で金集めはよくない。
- ・地蔵盆はもっと子供にまかせたほうがいい。大人が出すぎ。
- ・若狭特有の伝統行事である地蔵盆をきちんと保存伝承していくべき。
- ・学校・家庭・地域で連携して盛り上げていく。伝統行事の大切さの啓発を。
- ・水祭りを復活させてほしい。

## アンケート結果概要(歴史的環境) その3

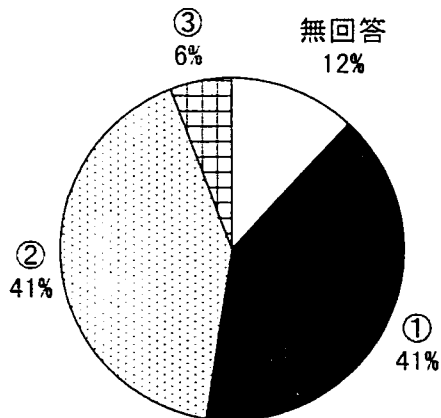
### 問6: 郷土の偉人について



- ① 顕彰祭や資料整理、地区民への啓発など、積極的に取り組むべき
- ② 現状のままでよい
- ③ 縮小していくべき
- ④ その他

- 【意見】
- ・偉人に関係ある他都市との連携・情報交換を。
  - ・地区民に偉人のことを知ってもらう努力が必要。いろいろな方法でPR・啓発を。
  - ・観光資源として散策路・自転車道整備を。
  - ・資料館で偉人を紹介。資料整理して一冊の本にする。
  - ・もっと学校などで子供に教えるべき。

### 問7: 雲浜地区の歴史文化資料整理について



- ① 雲浜村史づくりなど、お金と時間をかけてもしっかりした資料を整備し、地区民意識向上に積極的に取り組むべき
- ② 特に取り組む必要はない
- ③ その他

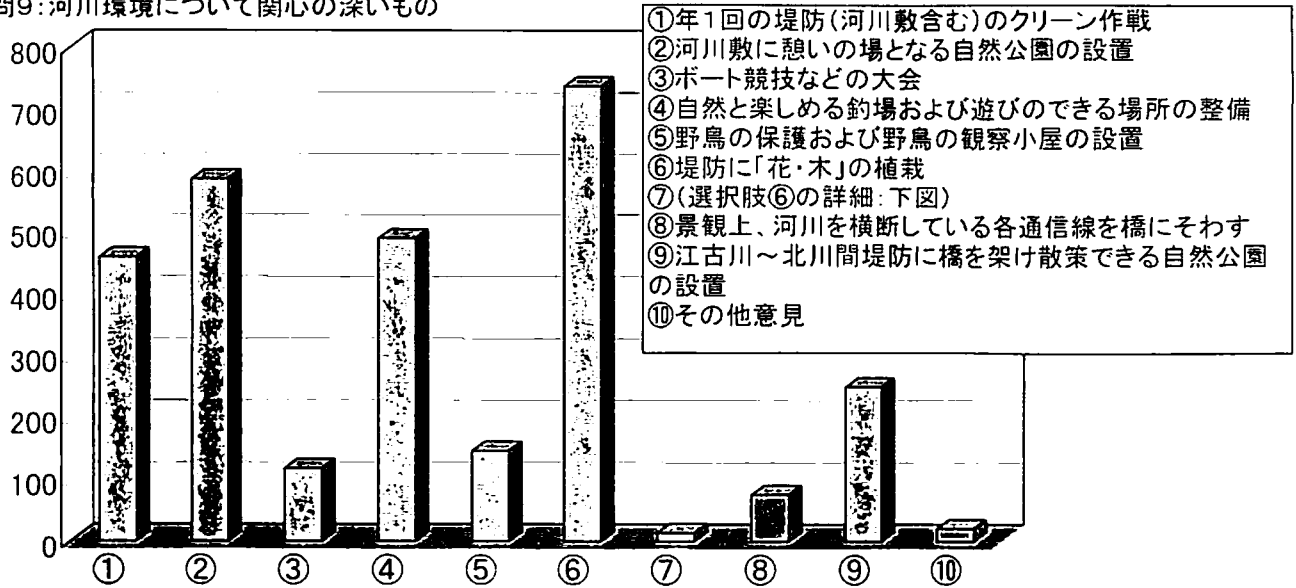
- 【意見】
- ・子供向けの本、やさしい本、ビデオ、パンフなどわかりやすい資料作成を。
  - ・ホームページ、気軽に参加できる勉強会など。
  - ・ボランティアやサークル焦らずじっくり取り組んでほしい。あまり金をかけずに。
  - ・高齢者の聞き取り、古い写真の収集などを進める必要がある。

### 問8: 歴史・文化の側面から雲浜地区のまちづくり全般に関してのご意見

- ・地区民の自主的な取組みを通して啓発する。あまり負担をかけずに。
- ・雲浜地区の歴史がわかりやすく学習できる施設や資料・機会がほしい。
- ・雲浜地区は転入者が多いので歴史文化をわかりやすく教えてほしい。
- ・雲浜地区だけで考えず、小浜全体の中で考えるべき。
- ・お城祭りを盛り上げ地区民全体の祭りにする。イベントもやる。
- ・子供たちに誇りある郷土文化を教えてほしい。
- ・今後の社会基盤整備は文化的景観とマッチしたものに。

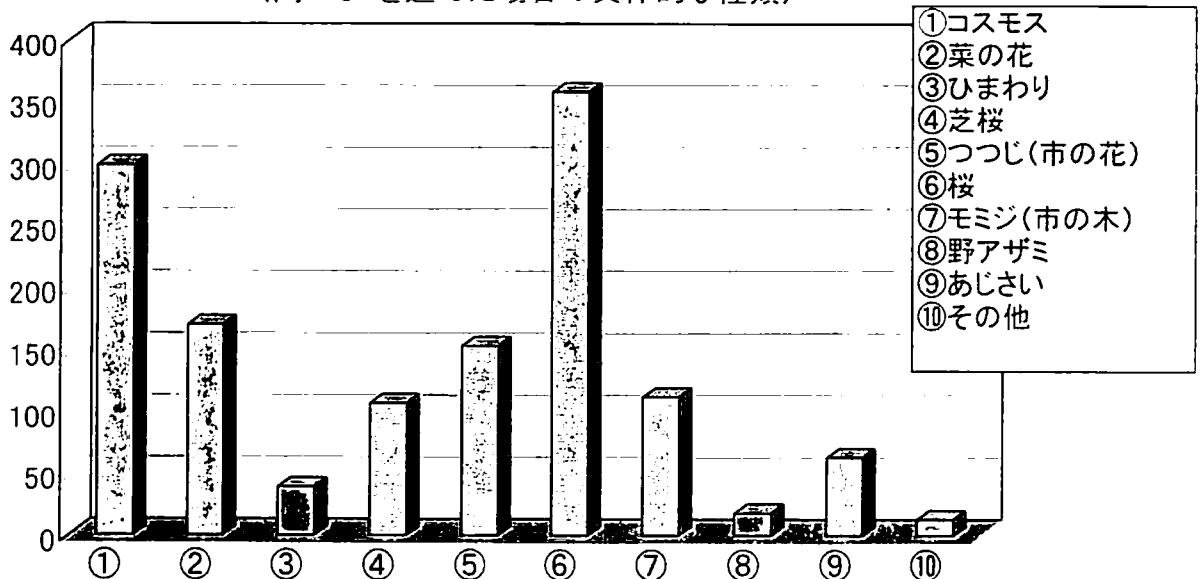
## アンケート結果概要(自然環境) その1

問9: 河川環境について関心の深いもの



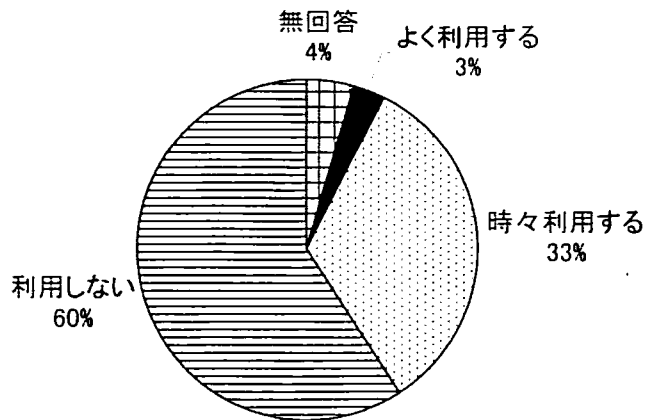
- 【意見】**
- ◎景観
    - ・堤防や河川敷に植栽・植樹(例一各季節に咲く花の植栽及び、桜、紅葉などの植樹)
    - ・広く全国に呼びかけ希望者を募る植樹(記念植樹の場所提供)
    - ・四季の野の草花を楽しめる工夫と継続的管理していく対策
  - ◎河川の活用
    - ・スポーツ(ボート競技、イカダレースなど)、レクリエーション(バードウォッチング、野の花探索など)の実施
  - ◎施設・設備
    - ・屋形船の運航、河川敷に屋台やベンチ・釣り場の設置。ただし後の維持費も考慮に入れる整備
    - ・スポーツ施設やレクリエーション施設(川辺でバーベキューができるような施設など)の設置
    - ・自然公園・散歩道、ジョギングコース等風景にマッチした施設及び、整備
  - ◎安全・防災
    - ・災害時、交通安全などを考えた堤防の整備及び、街路灯の設置
    - ・自動車通行止めの設定(ジョギング・マラソン・一般散歩者の安全確保ため)
    - ・橋や、取付け道路は、車道と歩道を分離・安全に自然を楽しめるような整備(歩行者、自転車の安全確保のため)
  - ◎美化
    - ・クリーンデーの回数を増やす(区民ボランティア、各団体の協力)
    - ・堤防のゴミ、犬のフン対策等、ゴミを捨てないようなモラル向上の呼びかけ
    - ・ポイ捨て禁止の立て札やゴミ箱の設置又、ゴミ放置の取締り(条例等)
  - ◎環境保全
    - ・河川の自然はそのまま、季節を感じさせてくれる風景を大切に
    - ・自然破壊しない整備(防災上必要以外手をかけない)及び、環境上不必要な施設は設置しない

(問9で6を選んだ場合の具体的な種類)

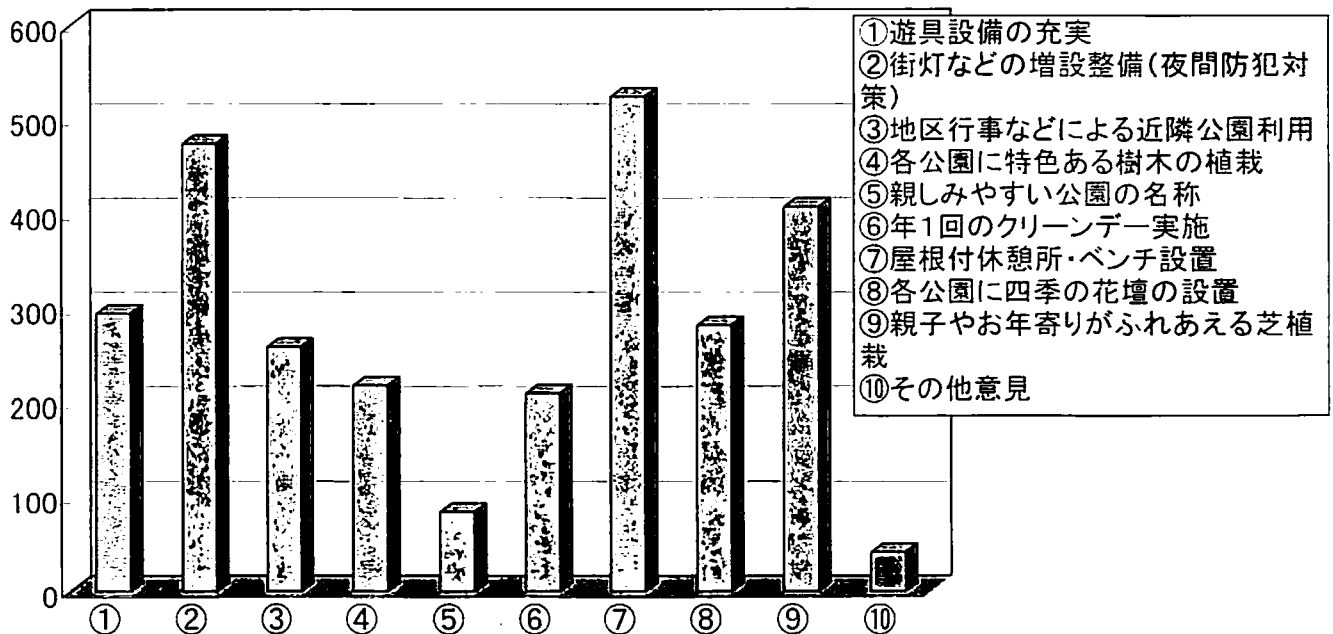


## アンケート結果概要(自然環境) その2

問10:地区内9箇所の都市公園の利用



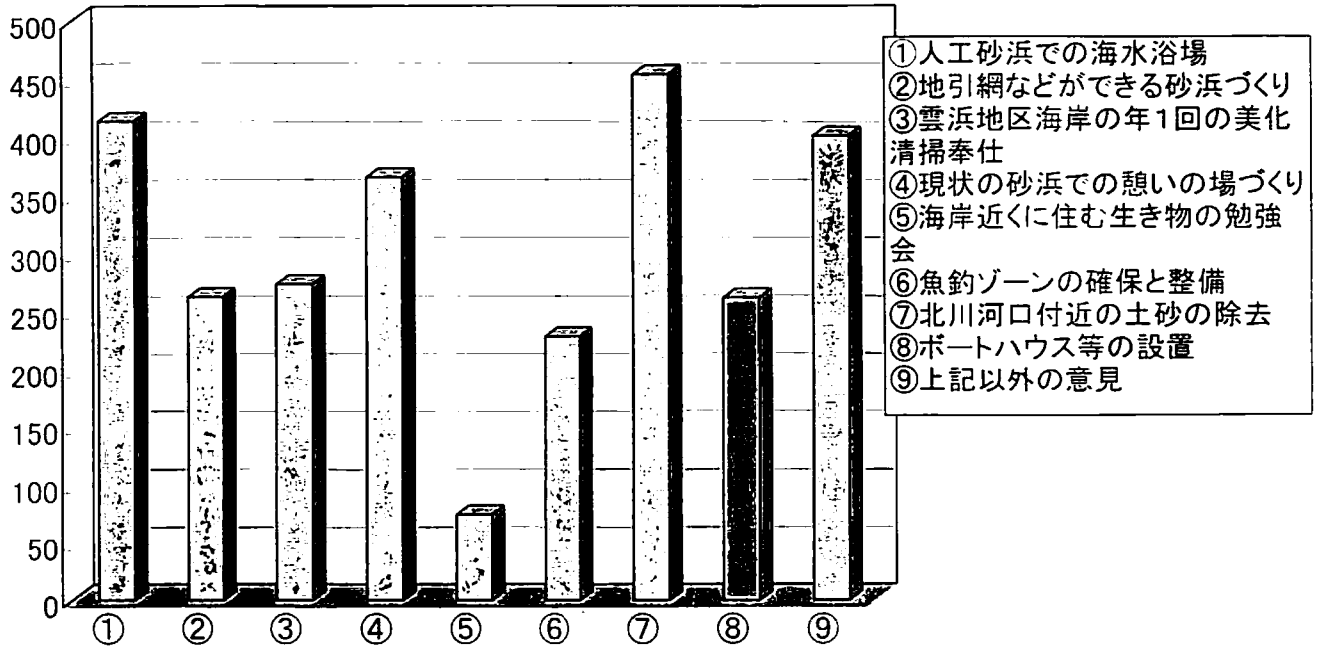
問11:公園有効活用のための整備



- 【意見】
- ◎自然
    - ・野鳥等が来るように雲浜全体を自然公園及び、都市に
    - ・公園の空地に緑化を進め、また、各公園に特色をもたせる((例) 特色ある木を植え「公園名」に)
  - ◎施設・設備
    - ・レクリエーション・スポーツ施設、広場の整備(野球、サッカーなど)と放送設備の設置
    - ・イベント施設の設置(ミニコンサート、ミニ運動会、交流会など)
    - ・遊具の充実と維持管理の徹底(水はけ、砂場の砂の入替え等)
    - ・芝生広場の整備や植栽、植樹(四季の花、木など)
    - ・児童館の併設や駐車場の整備(公園に行っても駐車場がない)
  - ◎安全
    - ・遊具の定期的安全点検
    - ・遊具の破損事故が全国で発生しているため、公園内の施設の有り方を検討
  - ◎美化
    - ・クリーンデーの年間回数を増やす(地区協力体制の確立)
    - ・落書き防止やトイレを明るく、清潔にするため、定期的に清掃又、除草、植木の手入も
    - ・野良猫、鳥対策(ゴミが散乱している)及び、犬を放さずフン処理の徹底も

## アンケート結果概要(自然環境) その3

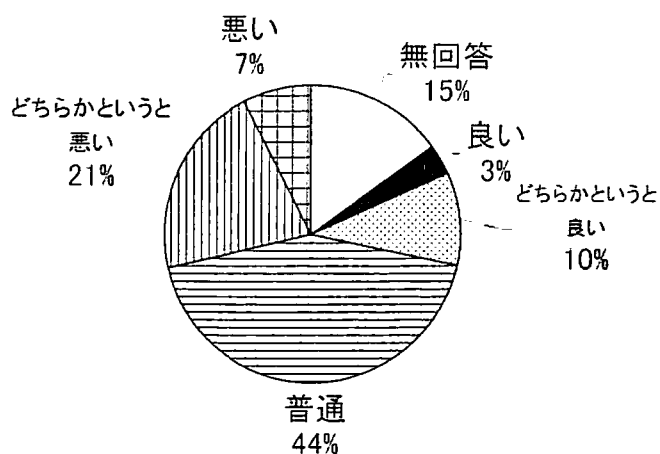
問12:海水浴・海と親しむ砂場整備



- 【意見】
- ◎海の活用
    - ・ハマグリの養殖や地引網の実施
    - ・水泳教室と海を活かした、水上祭り(ボート競争など)
  - ◎施設・設備
    - ・海上魚釣り場・ミニ水族館の設置及び、海岸遊歩道・デートスポットの整備
    - ・人工砂浜の整備(地引網等)・車の直接乗入れやキャンプが可能な整備と水道の設置
    - ・現状の砂浜での憩いの場の確保や整備
    - ・施設の設置や整備による自然や地形の変化を充分勉強する必要がある
    - ・海岸施設、海水浴場は、雲浜では無理してつくる必要ない(多数意見あり…下記の観点から)
      - ①自然を壊さないよう、余計な施設をつくらず、自然のままがよい
      - ②近隣に利用できる良い海水浴場や海岸が多くあり、浜が狭い雲浜で無理をしない
  - ◎美化
    - ・クリーンデーの回数を増やす(区民ボランティア、各団体の協力)
    - ・海を汚さないようなモラル向上の呼びかけ及び、ゴミに関する注意看板の設置

## アンケート結果概要(社会的環境) その1

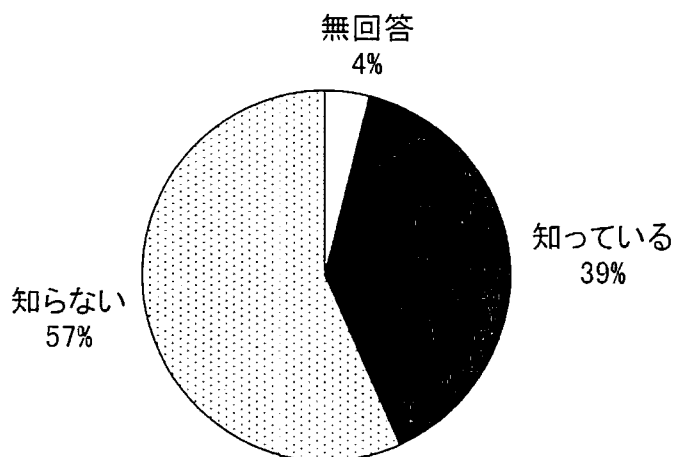
### 問13:交通安全・防犯施設について



#### 【意見】

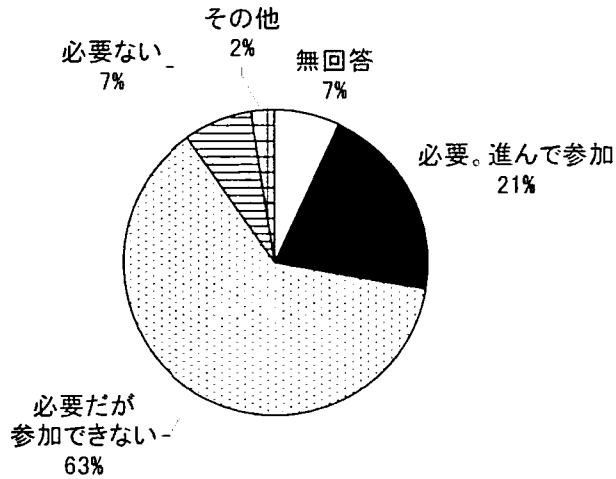
- ・ 全体的に街灯が少なく通行に不便、また無用心なので、増設を望む。(特に、南川町、水取等区域の広い新興住宅地に要望が多い)
- ・ 大手橋、西津橋が、幅が狭く歩道橋が高いので、改善を望む。
- ・ カーブミラーの設置、点検を望む。
- ・ 全体的に歩道が狭く凹凸があり、通行に不便なので改善を望む。
- ・ 通行量が多く横断に危険な場所に、横断歩道や信号の設置を望む。(特に、すし辰前、宮川薬局前等国道162号を横断する場所)
- ・ 違法駐車、信号無視、暴走車などで迷惑している。

### 問14:市指定避難場所を知っていますか？



## アンケート結果概要(社会的環境) その2

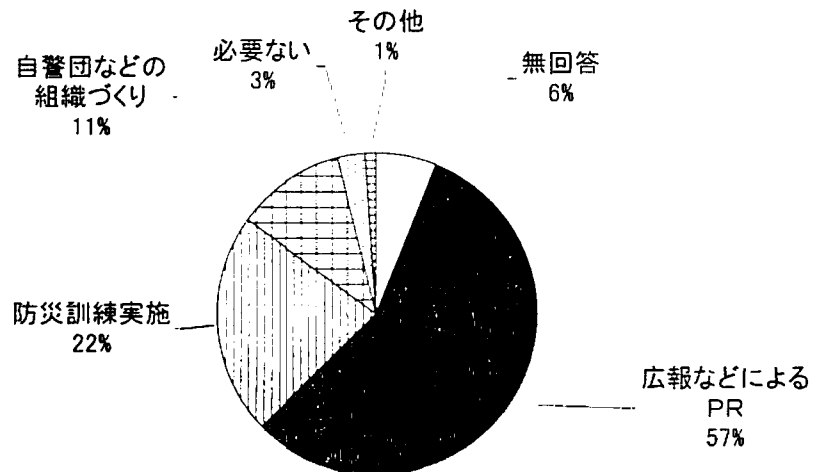
問15: 自主的な地域防災体制づくり・自警団などの組織づくりについて



【意見】

- ・ 必要であり、若い人に進んで参加してほしい。
- ・ あれば良いと思うが、人の出入りが多い地区では大変かなと思う。
- ・ 形式的なものでなく、住民意識の向上につながるような講演会等を開催してほしい。
- ・ 参加したいが、年齢的に無理。

問16: 防災意識の高揚と普及の方法について



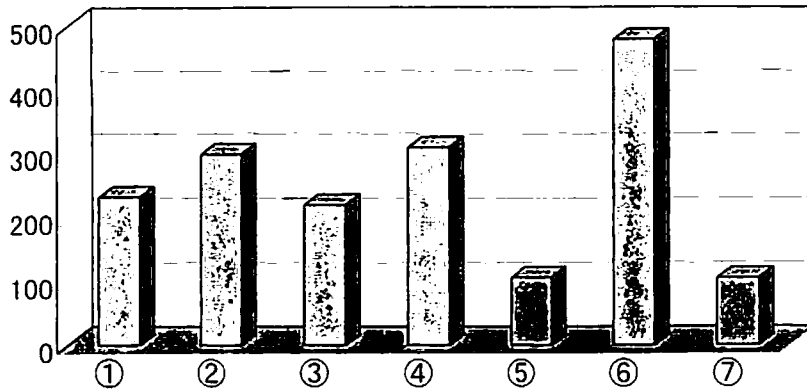
【意見】

- ・ 緊急告知放送をもっと有効に活用すべき。
- ・ 原発災害が恐ろしい。個人で防災するレベルではない。



### アンケート結果概要(社会的環境) その3

問17: 地域内でまちの良さ、美しさをこわしているもの

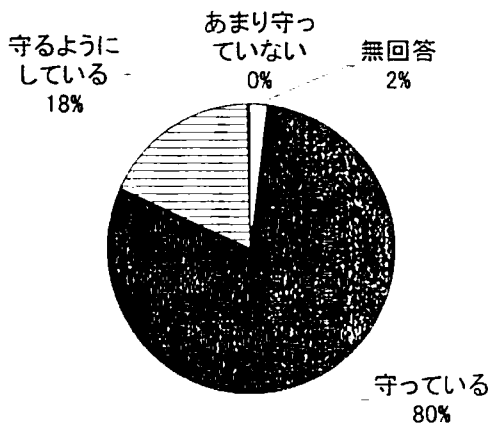


- ① 看板・ポスター
- ② 海岸、川、水路など
- ③ 電線や電柱
- ④ 放置自転車
- ⑤ 公園の樹木など
- ⑥ ゴミ置場の周辺
- ⑦ その他

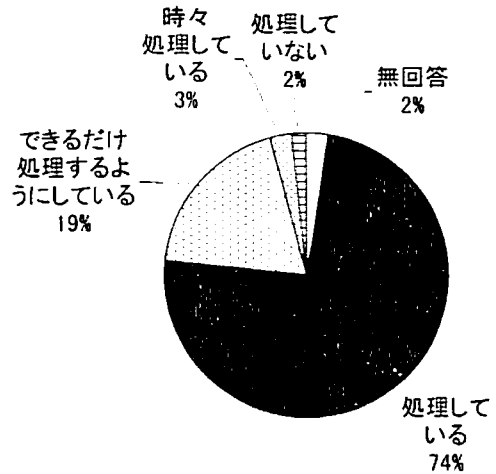
**【意見】**

- ・ 空き缶、タバコなどのポイ捨てゴミ
- ・ 手入れが不十分な街路樹、空き地の雑草
- ・ 車の路上駐車、違法駐車
- ・ 犬の糞

問18: ゴミを出すときのきまりを守っていますか



問19: ペットボトルなどの再生処理

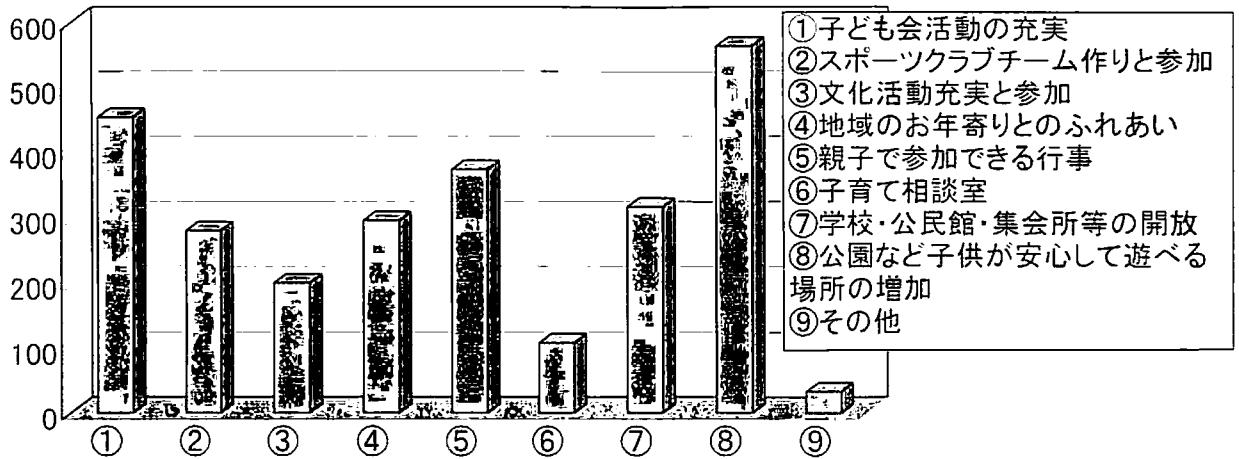


問20. ゴミの出し方、不法投棄などについてご意見があればお聞かせください。

- ・ 集積所への地区外からの持込み、川や道路などへの不法投棄、空き缶・タバコのポイ捨て、釣り客のゴミなどに迷惑している。不法投棄には厳罰を。
- ・ 不燃ゴミの袋に記名しない、指定日・時間を守らない、分別が不十分であるなどのルール違反に迷惑している。
- ・ 住民意識向上のため、定期的なパンフ配布、講演会の開催など、より積極的な情報提供を望む。
- ・ 可燃ゴミの袋を透明にする、罰則を強化するなど、ゴミ分別ルールの改正を望む。一方、分別の方法がむずかしすぎるという声もある。
- ・ 不燃ゴミの収集回数を増やす、休日の振替収集を行なうなど、ごみ収集方法の改善を望む。

## アンケート結果概要(社会的環境) その4

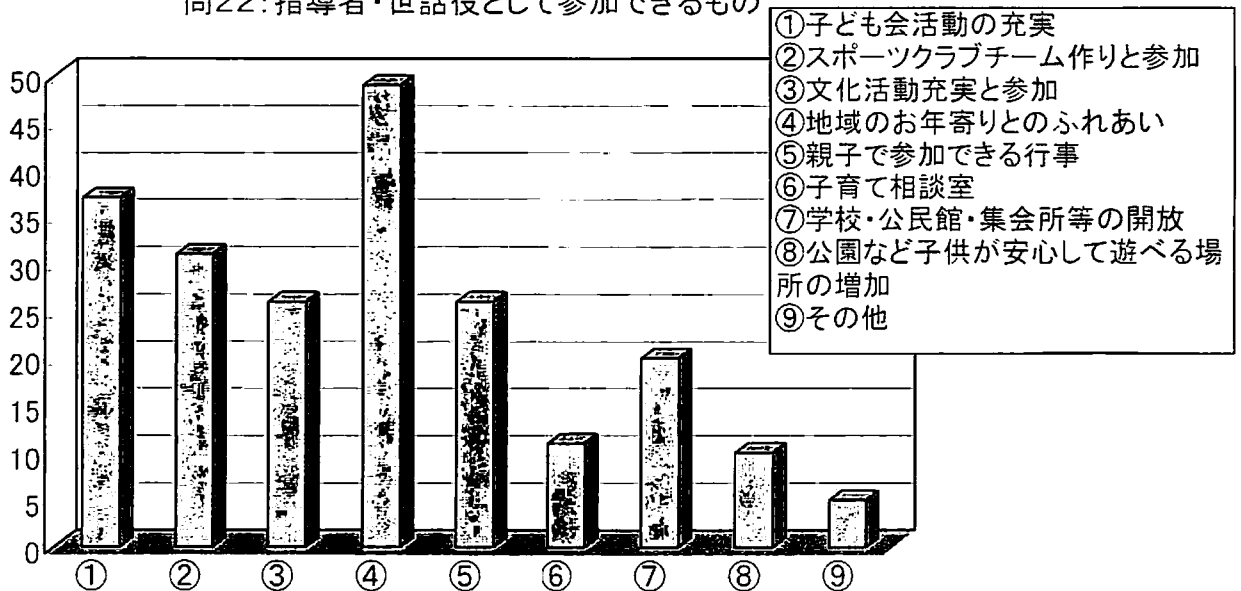
問21: 地域の子供育成のために何をやればよいと思いますか



【意見】

- ・ 子育ての基本は親子関係、家庭であり、親と子でコミュニケーションをとるなどまず親としての意識改革をし、責任感をしっかり持たなければならない。
- ・ 子ども会などの組織や運営方法について見直す必要がある。
- ・ 挨拶を交わしたり、よその子でも注意したりなど、地域全体で子どもを育成するという考え方が大切である。
- ・ 公共施設(公民館、学校等)を開放し、地域のお年より、大人と子どもが触れ合える場にするなど、有効活用が必要である。また、図書館の週末の夜間の開館が望まれる。
- ・ バスケットボール、バドミントンなどのクラブチームがあればよいと思う。
- ・ 祭礼や地域の行事に積極的に参加することが大切である。

問22: 指導者・世話役として参加できるもの

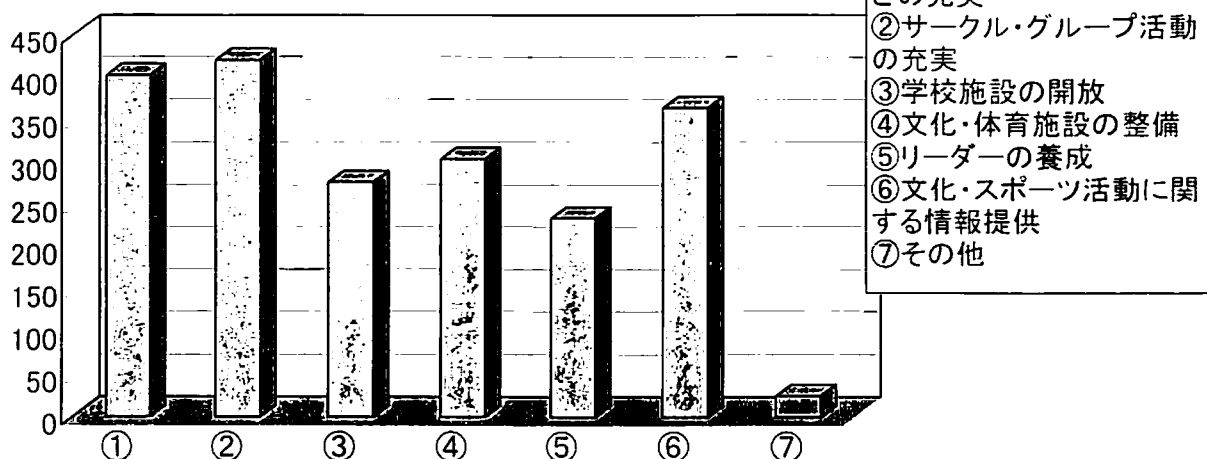


## アンケート結果概要(社会的環境) その5

問23. 雲浜地区の子ども達にぜひとも学習して欲しいと思うものがあればお聞かせ下さい。

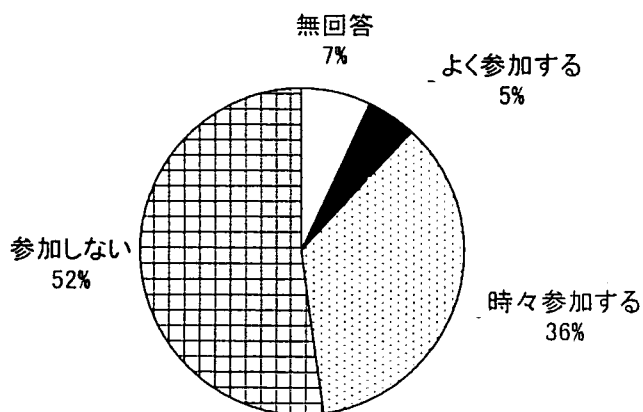
- ・ 郷土の歴史、文化、自然について学び、郷土の良さを知ってほしい。
- ・ 歴史(史跡、偉人)文化(酒井文庫、伝承行事)自然(北川、南川、台風13号)
- ・ 公德心、礼儀、マナー、おもいやり、感謝の心など道徳を学んでほしい。
- ・ 公園などの清掃奉仕活動や地域内の老人施設等との交流など奉仕や福祉について体験的に学んでほしい。
- ・ 自然の中で、竹とんぼや竹馬、石けりなど、伝承遊びについて学んでほしい。
- ・ 雲浜地区の伝統行事について学び、その素晴らしさを理解してほしい。

問24:文化・スポーツ・余暇活動充実のための方策



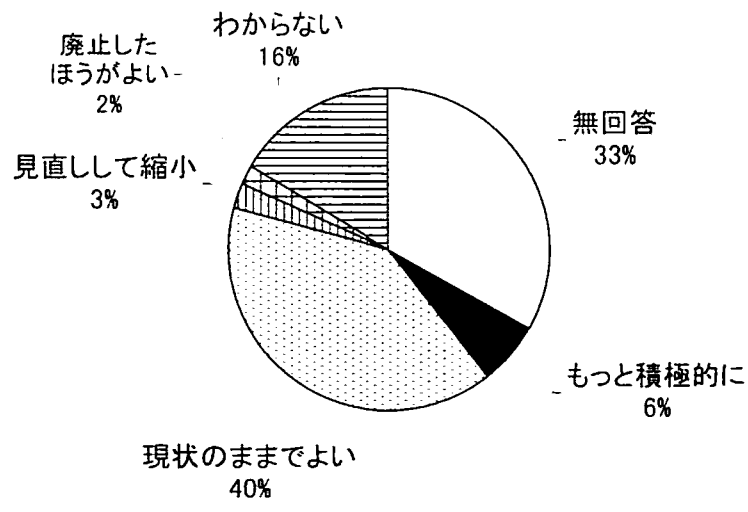
- 【意見】
- ・ 老人の体力づくりのための施設、指導者を。
  - ・ 講座などを日曜日や夜に開催してほしい。
  - ・ 福井県全体、また他府県の情報を積極的に流し、市民の関心を盛上げてほしい。

問25:公民館行事などへの参加

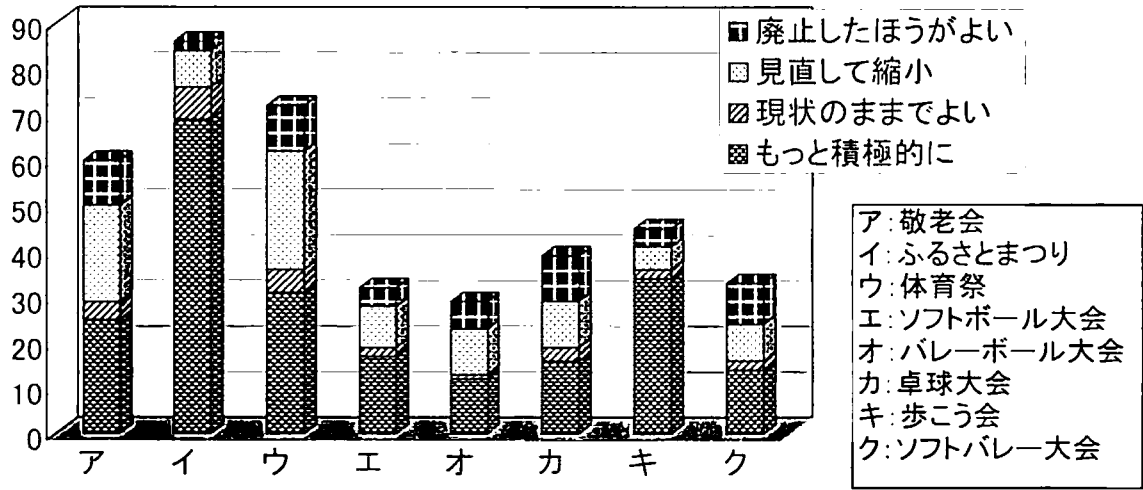


# アンケート結果概要(社会的環境) その6

## 問26:公民館等行事について



(行事毎)



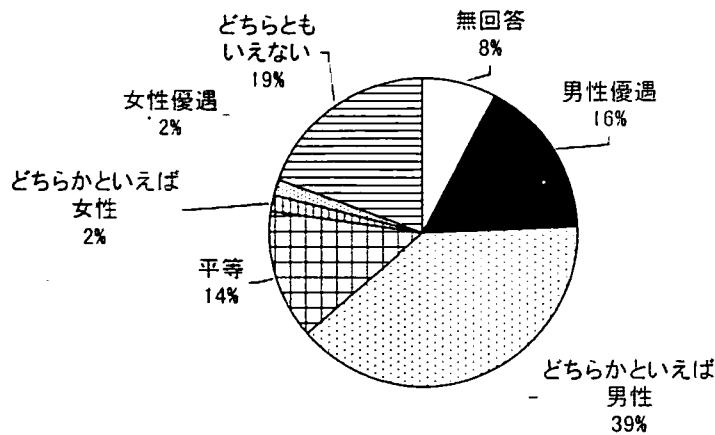
**体育行事について**  
 ・皆の負担にならないよう、また、誰でも楽しめるものに内容の見直しを望む。  
 ・歩こう会に力を入れてほしい。

**敬老会について**  
 ・対象年齢を見直してはどうか。

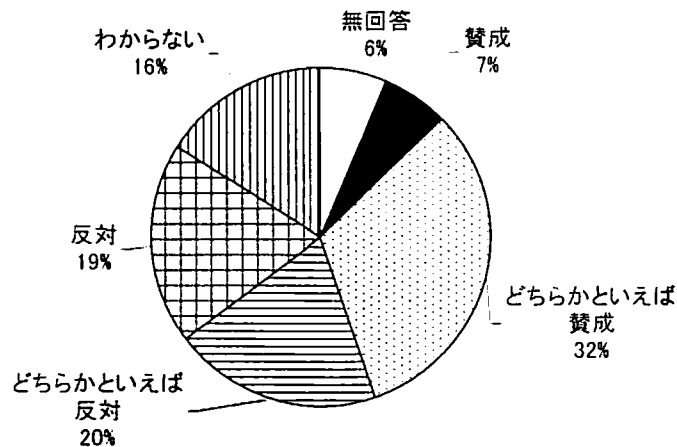
**公民館活動について**  
 ・皆が気楽に参加し、楽しめる行事などを積極的に企画するなど、もっと公民館を気楽に使用できるようにするとよい。

## アンケート結果概要(社会的環境) その7

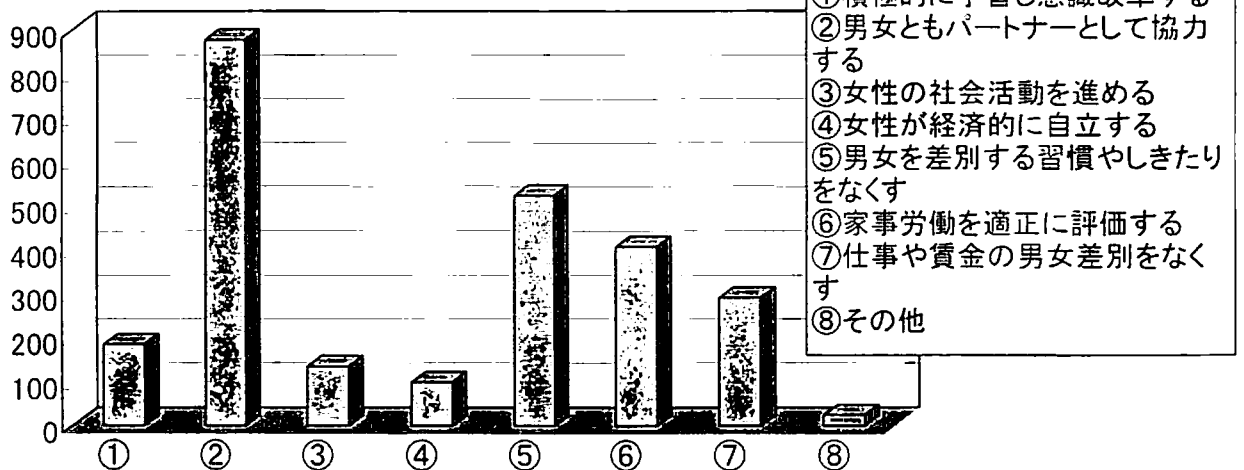
問27: 男女の地位が平等だと思いますか



問28: 「男は仕事・女は家庭」という考えについて



問29: 男女共同参画社会を作るため重要なこと

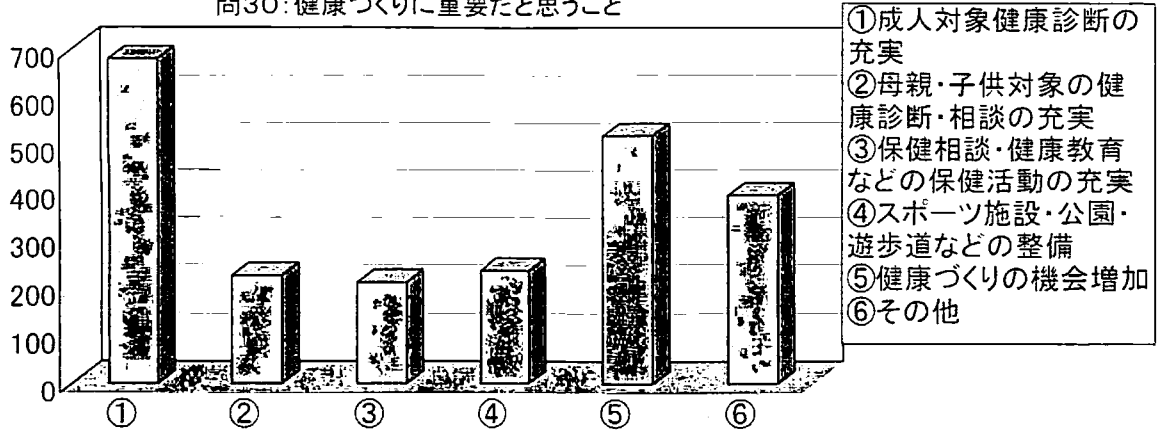


【意見】

- ・平等にしようとするから無理が起こる、男女違うんだから同じに考えない。
- ・性の差をきちんと見据えた平等でなければならない。
- ・習慣やしきたりはしようがない、相手を理解する気持ちが在れば、よいのでは。
- ・共働きNo.1の福井県です。もっと、男性も家事などに協力してもらいたいものです。
- ・女性の職場が少ないので自立が出来ない、市の企業誘致への取組が無い。
- ・男の子に家事を手伝わせる。

## アンケート結果概要(社会的環境) その8

問30: 健康づくりに重要だと思うこと

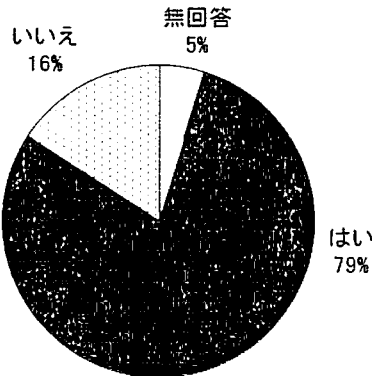


- ①成人対象健康診断の充実
- ②母親・子供対象の健康診断・相談の充実
- ③保健相談・健康教育などの保健活動の充実
- ④スポーツ施設・公園・遊歩道などの整備
- ⑤健康づくりの機会増加
- ⑥その他

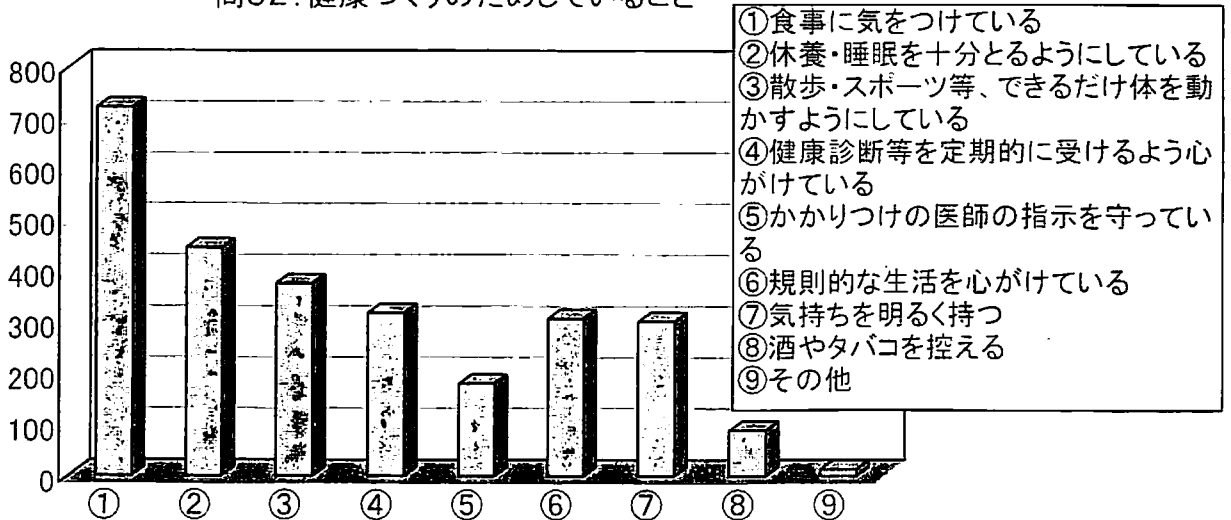
**【意見】**

- ・病気は予防と思う。健康診断の公費負担をお願いしたい。
- ・指導者を増やす。
- ・「安全な食」のために、無農薬有機野菜や新鮮な魚など、近くで作られたものを朝市だけでなく、恒常的に提供できると素晴らしい。
- ・子供の時から、歩く事の大切さを教える。(必要時以外、車に乗せない)歩く事によって、自然の厳しさ大切さを教える。そして、食事を大切に(食事は人を良くする)。
- ・温水プールの、平日の開放時間を午前も可能にして欲しい。

問31: あなたは普段健康に気を使っていますか



問32: 健康づくりのためしていること



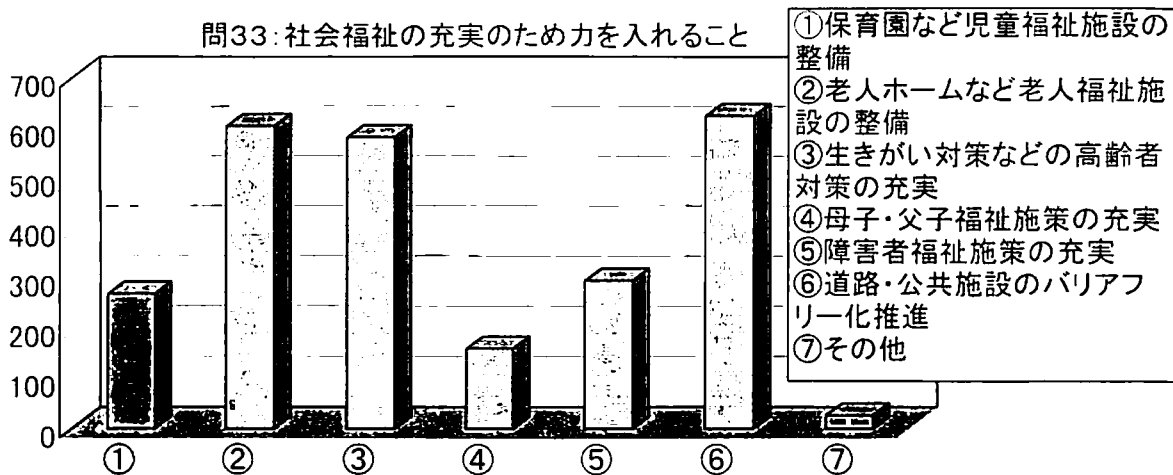
- ①食事に気をつけている
- ②休養・睡眠を十分とるようにしている
- ③散歩・スポーツ等、できるだけ体を動かすようにしている
- ④健康診断等を定期的に受けるよう心がけている
- ⑤かかりつけの医師の指示を守っている
- ⑥規則的な生活を心がけている
- ⑦気持ちを明るく持つ
- ⑧酒やタバコを控える
- ⑨その他

**【意見】**

- ・趣味を出来るだけ多く持つ。
- ・ストレスを溜めないようにする。
- ・自分なりの生活リズムを考えている。
- ・自分の健康について、認識をする。(無関心はだめ)

## アンケート結果概要(社会的環境) その9

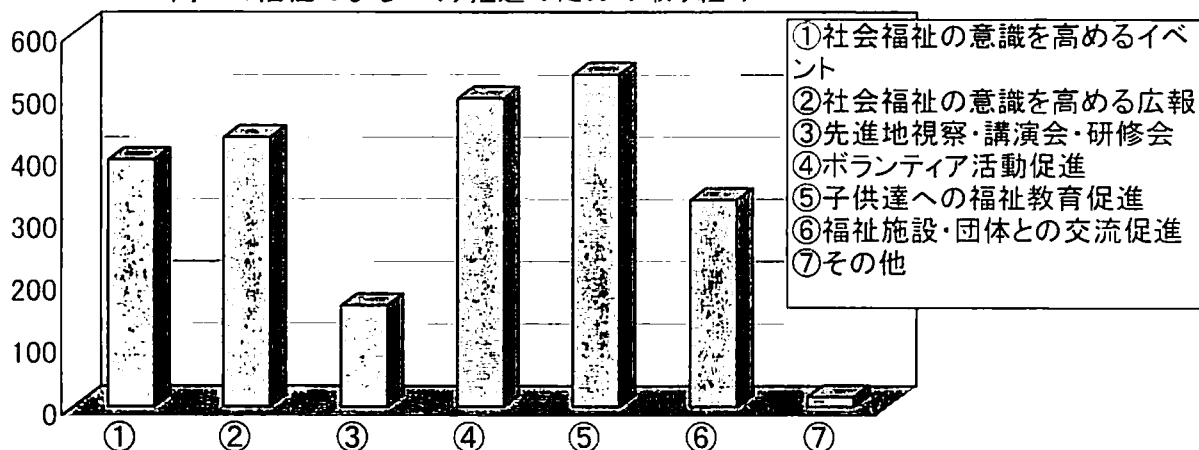
問33: 社会福祉の充実のため力を入れること



【意見】

- ・ボランティアで高齢者と学生、幼児が、日常ふれあえる場があるとよい。
- ・地域の親のような、地域住民リーダーの養成。
- ・障害者に偏見を持たずに生活ができるよう、教育することが大切。
- ・滑りやすい所、歩道の狭い所、段差の激しい所がたくさんあり、歩行が困難。
- ・地区内の住民の、社会福祉に対する理解が大切。

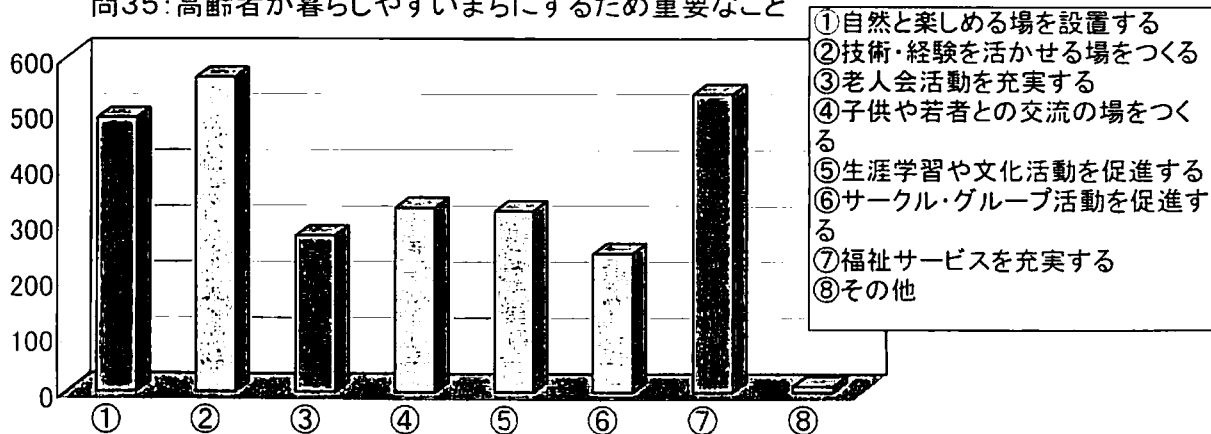
問34: 福祉のまちづくり推進のための取り組み



【意見】

- ・療育センターの設置。
- ・民生委員の活動促進。

問35: 高齢者が暮らしやすいまちにするため重要なこと



【意見】

- ・路線バスを利用しやすいように路地まで入れて欲しい。
- ・将来は在宅介護が増えると思うので、地区の会館の設備を充実し、解放してはどうか。
- ・老人家庭が増加するので、数軒の家庭を単位にして、お互いの日常生活を確認しあう組織を作るとよ

